第 13 回大阪公立大学 都市防災研究シンポジウム

開催案内

主催：大阪公立大学 都市科学・防災研究センター

大阪公立大学都市科学・防災研究センターは、全学の研究組織が参画して都市防災研究に取り組んでいます。本学における都市防災に関する研究知を集結するとともに、更なるシナジー効果の発現を目的として、第 13 回大阪公立大学都市科学防災研究シンポジウムを下記の要領で開催いたしました。今年度は、同日午前中に開催される JST 事業「サイエンスアゴラ in 森之宮」に引き続き開催いたします。ぜひ合わせてご参加いただけますと幸いです。

2016 年熊本の大震災から 10 年が経過し、2026 年には再び熊本で震度 7 の地震が発生し、大きな被害をもたらしました。また 8 月には千葉県で 24 時間雨量が 350mm を超える豪雨が発生し、激甚化する都市水害を強く印象付けています。当センターでもこうした昨今の災害と社会のあり方を分析しながら、多面的に災害問題の解決に取り組んで参ります。

また、本シンポジウムは、公立大学防災研究教育センター連携会議に加盟している大学の研究者間の研究交流の場としても位置付けられています。奮って、ご参加くださいますようお願い申し上げます。

なお、今年も会場と Zoomによる遠隔とのハイブリッド形態で開催する予定です。会場でのご参加には限りがありますので、事前にお申込みください。

開催日時：2026 年 11 月 15 日（日） 15:30～17：00
場所：UR 森之宮ビル 1 階 ほとりで （大阪市城東区森之宮 1 丁目 6-85）
＋オンライン（Zoom）
▸参加ご希望の方は下記の申し込みフォーム（QR コード）からお申込みください。
https://forms.cloud.microsoft/r/GtDY6Qax8e
オンラインでの参加をお申込みいただいた方には、
後日 Zoom の URL 等をお知らせいたします。
申込期限：～11 月 12 日（木）
参加費：無料

申込フォーム

＜お問い合わせ先＞
大阪公立大学都市科学・防災研究センター
都市防災研究シンポジウム担当
TEL：06-6605-2071
Mail: odrp.symposium@gmail.com

UReC
大阪公立大学 都市科学・防災研究センター

第 13 回大阪公立大学 都市防災研究シンポジウムプログラム

15 :30～15:35　開会あいさつ　　重松孝昌（都市科学・防災研究センター所長）

15:35～15:40　都市防災研究論文集へ投稿された研究の紹介
司会：中條壮大（大阪公立大学）

15:40～16:00　防災教育 AR アプリ MUSUBOU―AR を活用した小大連携による防災まち歩きの実施
石原恵子（広島国際大学）・井山慶信（広島国際大学）
石原茂和（広島国際大学）・高橋伸治（広島県）
岡田大爾（広島工業大学）・吉田大介（大阪公立大学）

16:00～16:20　合成人口データと道路ネットワークデータを利用した在宅避難者等支援拠点の最適配置手法による可視化
弘田尚也（ESRI ジャパン株式会社）・浦川豪（兵庫県立大学）

16:20～16:40　和歌山県 3 市における男女共同参画の視点からの地域防災計画及び事前復興まちづくり計画の比較に関する研究
林久善（大阪公立大学）

16:40～17:00　津波避難における徒歩避難の限界と自動車避難が有効となる空間範囲の分析
上田一嘉（大阪公立大学）・杉本賢二（大阪公立大学）
米澤剛（大阪公立大学）

17: 00～17:05　閉会あいさつ

※講演時間 15 分・質疑 5 分です。